

株 主 通 信

第 1 0 8 期 近 況 報 告

2019年4月1日—2019年9月30日

komatsumateRe



証券コード 3580

小松マテレー株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃のご支援に厚く御礼申し上げます。ここに当社の第108期第2四半期(2019年4月1日から9月30日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。なお、10月1日より私が代表取締役会長兼社長の任に就くこととなりました。今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 中山 賢一



わが国経済は、米中、日韓間の経済摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫等に見られるように、先行きの不透明感が広がっています。また国内の消費動向も、将来への不安等を背景とした生活者の節約志向が根強く、景況感は弱含みの状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは高度化並びに多様化する市場の要望に応えるため、品質向上を第一とし、グローバルマーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速させるとともに、海外企業との提携を含めた海外市場の拡大を積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期の売上高は183億25百万円(前年同期比6.7%減)となり、営業利益は7億63百万円(同29.7%減)、経常利益は10億46百万円(同24.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億84百万円(同41.0%減)となりました。

期初の計画を下回った要因としては、米中貿易摩擦などの影響から、売上の7割近くを占める衣料ファブリックにおいてファッション分野及びスポーツ分野が伸び悩んだことがあげられます。もう一つの柱である資材ファブリックは、医療・福祉のメディカル分野、建材、電材については概ね計画どおりに推移しました。

市場別では、国内が7.7%減となったほか、欧州が17.2%減となりました。日韓関係の影響を受けたアジア向けも3.9%減となり、北米向けは13.7%増、民族衣装を中心とした中東向けが8.9%増となっています。

2020年3月期通期の業績については、売上高380億円、営業利益21億円、経常利益27億円、親会社株主に帰属する当期純利益は18億円の見通しです。

当中間配当金額は1株当たり7円(1円増)としました。年間配当金額は14円となる予定です。

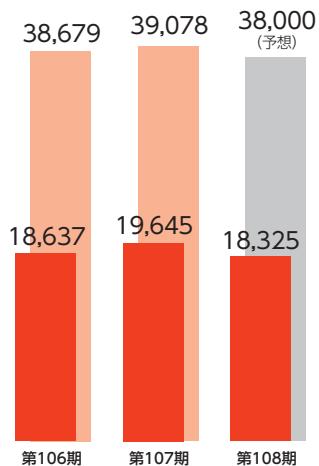
今後、当社は時代の大きな変化に対応するため、持てる力の限りを集中して、非衣料分野及び海外市場向けの拡大、技術開発の強化、環境対策などの課題に全力で取り組みます。株主の皆さまには引き続き変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

●財務ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期

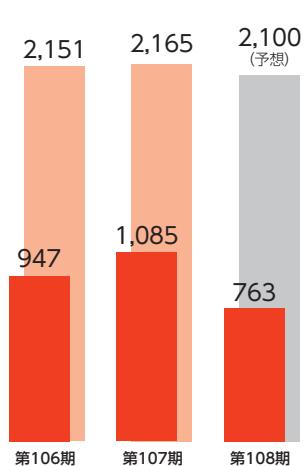
売上高

[単位:百万円]



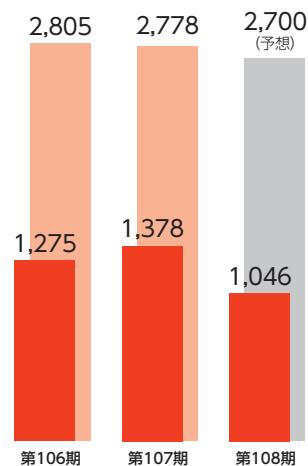
営業利益

[単位:百万円]



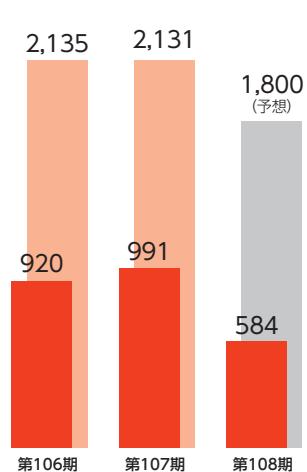
経常利益

[単位:百万円]



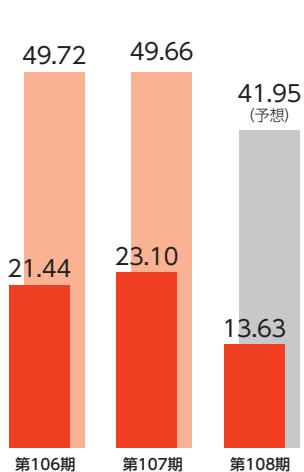
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

[単位:百万円]



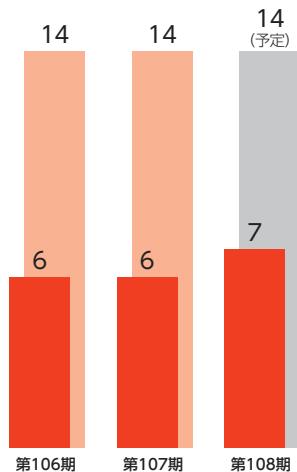
1株当たり四半期(当期)純利益

[単位:円]



配当金の推移

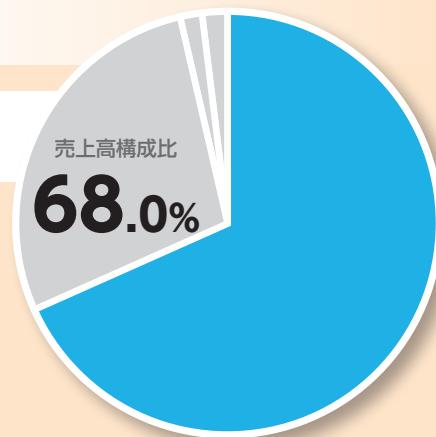
[単位:円]



●セグメント別の概況

衣料ファブリック部門

売上高 **12,464**百万円 (前年同期比 4.9%減)



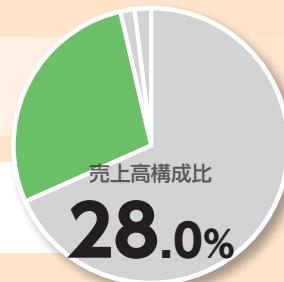
国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。なかでも欧州向けのラグジュアリーファッション、北米向けのスポーツ分野、及び中東向けの民族衣装については堅調に推移し増収となりました。一方、欧州アッパーミドル向けのファッション、欧州向けのスポーツ分野及び韓国向けのファッション分野は減収となりました。また、国内向けは、総じて厳しい市場環境の影響を受け、ファッション及びユニフォーム分野が伸び悩み、衣料ファブリック部門全体は減収となりました。

資材ファブリック部門

売上高 **5,123**百万円 (前年同期比 0.9%増)

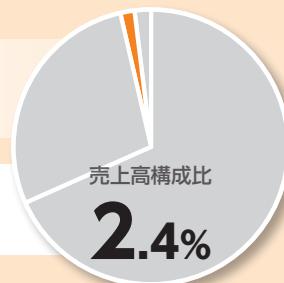


医療・福祉のメディカル分野、及び建材、電材については概ね計画通りに推移しました。リビング分野については、不採算商品からの撤退を図り減収となったものの、資材ファブリック部門全体では増収となりました。



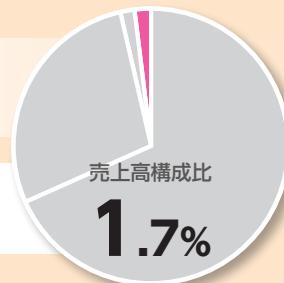
製品部門

売上高 **431**百万円 (前年同期比 61.4%減)



物流物販事業

売上高 **307**百万円 (前年同期比 13.2%減)



Topics



“染め”と“高次加工”で新しい価値をつくる

「Co-mt.™」の実験店が東京・渋谷にオープン

当社初となるプロジェクトブランド「Co-mt. (シーオー・エムティー)」の実験店が、1年間の期間限定店として、7月に東京・渋谷にオープンしました。

「Co-mt.」ブランドは、製品染め*を中心に、小松マテレーが長年にわたり蓄積してきた技術を提案するプラットフォームです。複数の染色技術を組み合わせ、異なるカラーが絶妙に重なりあう多重染色などの新技術により、これまでに見たことのない“合織の風合いや色”を表現しています。

ブランドテーマは「New Basic for New Gentlemen」。都市に生活する大人の男性に魅力ある新しいベーシックを提案します。

ショップがあるのは東京・渋谷のキャットストリート。渋谷と原宿をつなぐ約1kmのこのエリアには、多くのファッションブランドショップや古着屋、カフェやフードスタンドが並び、流行に敏感な人が行き交う街として知られています。店内には、メンズ向けを中心に、約100点の商品が並べられ、日本人のみならず、インバウンドのお客様も訪れています。

*製品染め…製品を縫い上げてから染める方法。独特な色味と風合いを表現することができる。



サステナビリティを目指し、環境に優しい

世界では、大量に生産された衣料品が売れ残り、処分されるという問題が深刻化しています。「Co-mt.」では、少量生産に対応する“染め”の特性を活かし、余剰在庫を作らぬなど環境負荷の低減に努めます。また、購入、使用した「Co-mt.」の製品を、お好みに応じて別の色に染め替えるサービスを提供し、製品の長寿命化をはかります。つまり、国連が進めるSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)に沿って、循環するものづくりを進めます。



Co-mt. LAB SHOP
(シーオー・エムティー ラボショップ)
東京都渋谷区渋谷1丁目22-10
MIYASHITA BLD 1F

水をはじき、洗濯にもへたらない

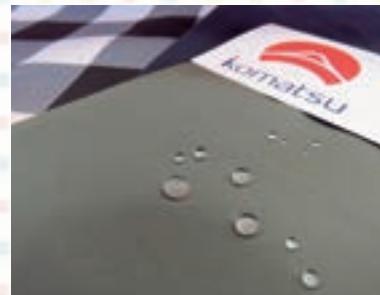
撥水性能を持続する「ダントツ撥水™」を開発

環境・安全性に配慮し、優れた撥水性と高い耐久性を兼ね備えた超撥水加工技術を開発し、「ダントツ撥水」のブランド名で展開します。

水をはじく撥水加工には、これまでフッ素系加工剤（C8タイプ）が用いられてきましたが、米環境省が「PFOA*¹」の排出と製品含有を2015年までに廃絶するとしたことにより、世界の素材メーカーが「PFOAフリー」や「フッ素フリー」の撥水素材の開発を競ってきました。

この6月、当社は独自の加工技術により、高い撥水性能を発揮するのみならず、「耐久性」の観点からも撥水力を維持できる新素材の開発を実現。「ダントツ撥水」のネーミングで、スポーツ、ファッション、ユニフォームなどの衣料向けや、生活資材に展開していきます。なお、「ダントツ撥水」は、抜群の水切れの良さを体感でき、家庭洗濯を100回繰り返しても撥水性能を維持することが実証されています。

*1 PFOA:パーフルオロオクタン酸の略。フッ素化合物の1つであり、長期にわたり摂取した場合毒性を発現することが環境・安全上の懸念材料とされています。



緑化技術コンクール

都電荒川線の「軌道緑化」で環境大臣賞を受賞

「第18回 屋上・壁面緑化技術コンクール」で環境大臣賞を受賞しました。生物多様性や環境への配慮に加え、都市緑化技術の模範になると評価されたものです。緑化技術に与えられる賞としては最高位の賞であり、当社初の受賞となります。

この受賞は、当社と㈱トーケン、未来緑化㈱の3社が都電荒川線の軌道敷内に、当社が開発した保水性能の高いセラミックス基盤材『グリーンビズ®』を用いて行った「軌道緑化」によるもの。通常、軌道緑化には芝生が多く使われますが、受賞案件では『グリーンビズ®』上に4種のセダムを混植し、水やりをなくして保守作業の軽減と維持管理の簡略化を実現しました。

『グリーンビズ®』は染色工場の排水処理過程で発生する産廃物（余剰汚泥）を珪藻土、粘土等と混ぜ合わせ、約1,000℃の高熱で焼成してできる発泡セラミック素材です。超微多孔構造により、優れた断熱性・通気性・透水性・保水性を有します。販売開始から10年を経て、「屋上緑化材」「壁面緑化材」「土壌改良・農薬園芸資材」などに展開しています。



緑化された軌道敷内を走る都電荒川線の路面電車

株式情報

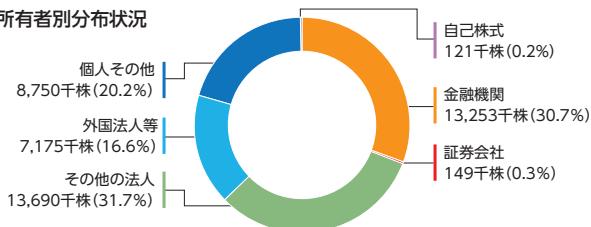
発行済株式総数

43,140,999株

株主数

5,859名

所有者別分布状況



大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東レ株式会社	3,749	8.71
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,291	7.65
株式会社北國銀行	2,113	4.91
小松マテール松栄会	1,489	3.46
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,341	3.11
日本生命保険相互会社	1,284	2.98
株式会社北陸銀行	1,263	2.93
三井住友信託銀行株式会社	1,230	2.85
株式会社クラレ	1,090	2.53
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL OMNIBUS SECS LENDING ACCOUNT	1,078	2.50

※持株比率は自己株式を控除して計算

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

URL <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

1単元の株式の数 100株

公告の方法 電子公告(当社ウェブサイトに掲載)
<https://www.komatsumatere.co.jp/ir/investor/>
※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行ないます。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

会社情報

役員 2019年10月1日現在

代表取締役会長兼社長	中山 賢一	取締役	奥谷 晃宏	監査役	尾野寺 賢
専務取締役	中山 大輔	取締役	向 潤一郎	監査役	根上 健正
常務取締役	松尾 千洋	取締役	福井 敏明	監査役	坂下 清司
		取締役	野路 國夫		
		取締役	鳥越 和峰		

グループ会社

小松精練（蘇州）有限公司	中国・江蘇省蘇州市
株式会社コマクソン	石川県能美市
株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
株式会社セイホウ	栃木県足利市

会社の概況

商号	小松マテール株式会社	大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田2丁目2番22号 (ハービスENTオフィスタワー8階)
設立年月日	昭和18年10月8日	東京営業所	東京都中央区銀座3丁目9番7号 (トレランス銀座ビルディング8階)
資本金	46億8,042万円	北陸営業所	石川県能美市浜町ヌ167番地 (小松マテール株式会社 本社2階)
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地	上海事務所	上海市延安西路2200号 (上海国際貿易センター1913号)
本社工場	同上		
美川工場	石川県白山市鹿島町1号7番地1		

小松マテール株式会社

<https://www.komatsumatere.co.jp/>

